

サハリン・樺太史研究会

第51回例会

日時:10月13日(土) 14:00~17:30

会場: 北海道大学 人文社会科学総合教育研究棟 2階 W202室

書評:今西一・飯塚一幸編 『帝国日本の移動と動員』

(大阪大学出版会、2018年、5,800円+税)

著者 今西一、飯塚一幸、石川亮太、中村平、天野尚樹、三木理史、
石原俊、水谷清佳、井潤裕、広瀬玲子、玄武岩

報告者(評者): 中山大将(京都大学) 白木沢旭児(北海道大学)

※編者、著者も来られます

今西一・飯塚一幸編

帝国日本の 移動と動員

大阪大学出版会

目次

序章 「満洲移民」研究の問題点	今西一
第一部 帝国の形成	
第一章 日清戦争前後の「朝鮮通漁」と出漁者団体の形成	石川亮太
第二章 明治の技師山本小源太の軌跡	飯塚一幸
第三章 台湾高地先住民の土地と生の困い込み	中村平
第二章 帝国の膨張	
第四章 樺太における「国内植民地」の形成	天野尚樹
第五章 満洲鉱業移民構想の成立と挫折	三木理史
第六章 北硫黄島民の生活史における移動とディアスポラ化	石原俊
第三章 帝国とジェンダー	
第七章 植民地朝鮮における妓生の再組織化と社会的活動	水谷清佳
第八章 明治大正期の樺太・サハリンにおける公娼と半公娼	井潤裕
第九章 植民地朝鮮における愛国婦人会	広瀬玲子
第十章 在韓日本人女性の戦後	玄武岩
「引揚げと帰国のはざま」	

主催 サハリン・樺太史研究会

共催 科学研究費補助金基盤研究(A)

「日ソ戦争および戦後の引揚・抑留に関する総合的研究」

問い合わせ先(事前申込不要)

事務担当鈴木仁 su-jin@eis.hokudai.ac.jp

